



野田政権と 闇社会の「点と線」第3弾

蓮舫大臣と手塚首相補佐官 執行猶予中の 「怪しい」

会社「ダイナシティ」元社長で、05年に覚醒剤所持で逮捕された中山諭氏だ。

「地上げなどで昔から暴力団とかかわりを指摘されていた中山氏と2人のつき合いは、中山氏の逮捕前から、3人とも大のワイン好きで意気投合しました。

しかも、逮捕後につき合いは続き、中山氏は執行猶予中だった08年、生まれ故郷の青森県のねぶた祭に2人を招待したのです」（前出の関係者）

中山氏がかつて「マンシヨン業界の風雲児」と呼ばれ、芸能界やスポーツ界、政界にまで及ぶ派手な交友関係で知られた。

2004年12月17日の手塚氏のブログには、この中山氏や蓮舫氏との親密ぶりがつづられていた。

《本州最北端の青森県大湊町から上京し、文字通り裸一貫で会社を興し、日本有数のマンシヨン販売会社に育て上げた、ダイナシティの中山諭社長。（略）9月14日はダイナシティの設立日

であると同時に私の誕生日でも。そんなご縁もあってか、中山社長には日頃から親しくお付き合い頂いています。昨夜は、中山社長に蓮舫さんも交えての忘年会。2人とも男女の違いがあっても、いわゆる酒豪で、さすがの私も今日はひどい二日酔い》

手塚補佐官側へ 957万円献金

そして05年1月末に行われた民主党目黒区議の新春の集いに野田首相、小宮山洋子・厚生労働相、蓮舫、手塚両氏と一緒に、中山氏が参加したこともブログに書き込まれていた。

関係者によると、中山氏は約450本のワインを収蔵したワインセラーを完備した目黒区の豪邸に住み、各界の「タニマチ」として夜の街を豪遊する日々を送っていた。

しかし05年6月、東京国税局が同社を脱税容疑で家宅捜索していた最中、恵比

寿にある愛人宅で本人が覚醒剤を不法所持していたところを警視庁に現行犯逮捕されたという。

覚醒剤不法所持に加え、使用でも追起訴された中山氏は同年10月、懲役3年、執行猶予5年の刑を受けた。裁判では「畑を手伝いながら」郷里の青森で地道に生活を送りたい」と、反省の弁を語ったが、郷里の青森県むつ市に住む両親によると、「帰って畑を手伝ったのは保釈中だけ。すぐ東京に戻った」という。

事件直後、中山氏を解任したダイナシティ社は副社長だった中山氏の弟に引き継がれたが、05年8月には、中山氏の側近だった子会社前代表I氏が警視庁に強制わいせつ容疑で逮捕された。さらに翌年には、業務提携したライブドアから新社長を迎える予定が、ライブドアの堀江貴文元社長ら幹部の逮捕で破算。曲折の末、08年10月に民事再生手続きを申請し、520億円の負債を抱え、事実上、倒産し

野田首相(左)を支える蓮舫行政刷新相(右)、手塚仁雄首相補佐官(左下)と、ダイナシティ元社長の中山諭氏(右から2人目)をつなぐものとは？